

# 主張 ミャンマー政変 軍事独裁の復活は許されない

ミャンマー国軍によるクーデターに断固抗議します。昨年11月の総選挙で示された民意を武力で覆し、民主主義を破壊する暴挙です。国軍は、アウン・サン・スー・チー国家顧問ら拘束した政権指導者を直ちに解放し、選挙で圧勝した国民民主連盟（NLD）政権を原状復帰させなければなりません。軍事独裁の復活とたたかうミャンマー国民への国際的連帯が求められます。

## 民主化と和平の努力覆す

総選挙ではNLDが改選議席の8割超を得、国軍系野党が惨敗しました。国軍は不正があったとしていますが、選挙管理当局は受け入れず、国際監視団は、選挙は公正だったと評価しています。国軍の主張に根拠があるとはみなされていません。

現行憲法は国会議席の4分の1を軍人枠に充てています。軍政時代の特権を残した憲法の改正をめざすNLDが圧倒的に支持されたことで国軍は追い詰められていました。クーデターを起こしたのは新しい国会開会の当日でした。新政権の発足を暴力で阻み、国軍の特権を維持しようとする企てであることは明白です。

スー・チー氏は抗議行動に立ち上がるよう国民に呼びかけました。グテレス国連事務総長が同氏らの拘束を非難し、民意と民主主義を尊重するよう国軍に要求したほか欧米諸国がクーデターを強く批判しました。ミャンマーが加盟する東南アジア諸国連合（ASEAN）は議長国（ブルネイ）声明で、民主主義、法の支配、人権擁護などASEANの原則を守るよう呼びかけました。国軍はこの声を受け止め、ただちに事態を正常に戻すべきです。

国軍は1962年にクーデターで政権を握り、約半世紀にわたって独裁支配を敷きました。民主化を求める世論に押されて90年に総選挙を実施しましたが、NLDが圧勝すると選挙結果を拒否し、軍が主導する形式上の「民政」に移管した2011年まで軍政を続けました。NLDは15年の総選挙で単独過半数を得て政権に就き、ようやく民主化が本格化しました。

NLD政権はこの5年間、依然として強大な力を持つ国軍と、憲法改正、民主化について粘り強く対話を続けてきました。クーデターは営々と積み重ねられてきた努力を踏みにじるものです。

ミャンマーでは70年以上にわたって内戦が続いています。少数民族の武装勢力と国軍、政府が参加する和平プロセスがNLD政権のもとで進展し、国民主権や民族平等を原則とする新しい連邦国家に向けた協議が行われてきました。多くの少数民族組織は国軍に不信を抱いており、クーデターは和平の努力も無にしかねません。

## 最大の援助国の役割を

日本政府は過去、ミャンマー国軍が民主化運動を弾圧しているさなかに軍事政権を承認し、政府開発援助の供与などで軍政に支援の手を差し伸べました。この誤りを繰り返すことは許されません。

茂木敏充外相は、民主化を損なう事態に「重大な懸念」を表明し、スー・チー氏らの解放を求める談話を発表しました。日本は経済協力開発機構（OECD）加盟国中、ミャンマーに対する最大の援助国です。今日本に求められる役割は民主化と平和を求める同国民の願いに沿った行動です。

しんぶん赤旗 電子版 2021年2月3日【2面】

## ミャンマー 軍政構築 閣僚任命・総選挙に言及

### SNS上 市民怒る

【ハノイ＝井上歩】1日のクーデターで全権を掌握したミャンマー国軍の総司令官室は、2日付の国営英字紙に新閣僚の任命など多数の告示を掲載し、非常事態宣言下の軍事政権づくりを進めていく姿勢を明らかにしました。

軍政は、外相や新型コロナ対策の指揮をとる保健・スポーツ相を新たに任命。「総選挙を実施し、定められた国政の職務が勝利政党に委譲される」との告示も出しましたが、選挙実施の時期には言及しませんでした。

転覆された国民民主連盟（NLD）政権のアウン・サン・スー・チー国家顧問、ウィン・ミン大統領ら多数の幹部らの拘束に関して国軍は情報を明らかにしていません。

ロイター通信によると、NLDは2日、スー・チー氏らの解放を求める声明を発表。同通信は、著名な仏教僧が拘束された情報も伝えています。

最大都市ヤンゴン在住のミャンマー人ジャーナリストは本紙のメール取材に「人々はクーデターに怒り、納得できないでおり、その怒りはソーシャル・ネットワークにはっきりと表れている」と語りました。

クーデターへの抵抗を呼びかけたNLD指導者のスー・チー氏が、街頭行動には出ないようにと指示を出しているため2日午前の時点でデモは起きていないといいます。街には大きな混乱はみられないものの食料品や生活必需品のパニック買いが起きたといいます。

ジャーナリストは「クーデターは国にとっての大きな悲劇だ。軍事独裁者がいつまで支配を続けるか、わからない」と述べ、悔しさをにじませました。

英字紙ミャンマー・タイムズ電子版は2日、「一夜明けても悪夢のような現実」との見出しを掲げ、市民の困惑やSNS上での抗議の様子を報道。法律家の「クーデターは憲法にのっとっていない。クーデターはこの国の歴史で、国民に不幸しかもたらしていない」との声を伝えました。

しんぶん赤旗 電子版 2021年2月3日【国際】

## ミャンマー ASEAN正常化促す世界から懸念・抗議

【ハノイ＝井上歩】東南アジア諸国連合（ASEAN）は1日、加盟国ミャンマーで起きた国軍によるクーデターを受けてブルネイが議長国声明を発表し、「対話と和解を追求し、ミャンマー国民の意思と利益に基づいて正常に戻る」ことを促しました。

声明は、ASEAN憲章が「民主主義の原則、法の支配と良き統治、人権と基本的自由の尊重と保護」を定めていると指摘。「加盟国の政治的安定は、平和で安定したASEAN共同体の実現に欠かせない」とくぎを刺しました。

加盟各国も同日声明を発表。インドネシア外務省は1日、ミャンマー情勢に懸念を表明し、「法の支配、民主主義、立憲政治」などのASEAN憲章の原則を順守するよう呼びかけました。選挙問題の法的な解決、全当事者の行動の自制と対話も促しました。

マレーシア外務省は「深刻な懸念をもって事態をみている」と表明。ミャンマー国軍と当事者に対し、「平和と安全の維持を最優先し、法の支配を守り、法的システムと平和的な対話を通じて相違を解決する」よう呼びかけました。

ベトナム外務省報道官は1日、「情勢を注視している。ミャンマーが早期に状況を安定させることを望んでいる」とする談話を発表しました。

しんぶん赤旗 電子版 2021年2月3日【国際】

## ミャンマー 欧州「文民政府回復を」

【ベルリン＝桑野白馬】欧州各国首脳らは1日、ミャンマー国軍によるクーデターを非難し、アウン・サン・スー・チー国家顧問ら政権幹部の即時解放を求めました。欧州連合（EU）のミシェル大統領は「クーデターを強く非難する。違法に拘束されたすべての人の解放を軍に求める」と訴えました。

フォンデアライエン欧州委員長もツイッターで、憲法と昨年11月の選挙結果に従い「合法的な文民政府を回復しなければならない」と述べました。

英国のジョンソン首相は「クーデターと違法な拘束を非難する。（当局は）人々の投票を尊重し幹部らを釈放すべきだ」と訴えました。

スペインのサンチェス首相は「クーデターを非難する。拘束された人たちの即時解放と民主的プロセスの構築を呼びかける」と投稿しました。

スロベニア外務省もツイッターで「断固として非難する」と表明。オーストリア外務省も拘束者の即時解放を求めました。

しんぶん赤旗 電子版 2021年2月3日【国際】

## ミャンマー 米国 制裁復活を示唆

【ワシントン＝池田晋】バイデン米大統領は1日、ミャンマーのクーデターについて声明を発表し、民主化の進展とともに解除してきた同国への制裁の復活を示唆しました。バイデン氏は「掌握した権力をただちに放棄し、拘束された者を解放するよう国軍に圧力をかけるため、国際社会は一つの声で団結すべき」とこの問題での結束を呼び掛けました。

声明は、国軍による権力の掌握やアウン・サン・スー・チー国家顧問らの拘束について「民主化と法の支配への直接攻撃だ」と非難。民主化への逆行は「制裁関連法と権限をただちに見直すことを余儀なくし、適切な措置が取られる」と制裁復活を示唆しました。

また、「民主主義と法の支配の復権を支えるため、地域および世界のパートナー国と協力する」と述べる一方、「米国はミャンマー国民の側に立つ諸国に注目している」と国軍支配の容認に回る側をけん制しました。

サキ米大統領報道官は同日の記者会見で、バイデン氏の声明はミャンマーと国境を接する中国に対するメッセージかと問われ、「地域の全ての国へのメッセージだ」と指摘するにとどまりました。

しんぶん赤旗 電子版